

事業概要 【エコ・アクション・ポイント事業】

新しい地方経済・生活環境創生交付金  
(デジタル実装TYPE1)

自治体名	栃木県佐野市	人口	113,101人	事業費	917千円
------	--------	----	----------	-----	-------

事業概要  
省エネや脱炭素に関わる活動に取り組んだことへのポイントを付与することにより、市民のカーボンニュートラルに対する意識の向上を図る。ポイントというわかりやすい仕組みを取り入れることで、今までカーボンニュートラルに関心のなかった市民等の脱炭素型ライフスタイルの重要性に対する理解を深め、主体的な取り組みを促進し、行動変容を促す。

具体サービス  
【エコ・アクション・ポイントアプリ】  
エコ・アクション・ポイントは、環境省が推進している全国共通のポイントで、自治体が設定した省エネや脱炭素に関わる活動に取り組んだことに対し、アプリ上でポイントを付与する。  
市民等は、貯まったポイントをアプリ上で様々な商品と交換できる。



主なKPI  
【アウトプット指標（活動指標）】  
①アプリの登録者数  
②協力事業者数

【アウトカム指標（成果指標）】  
①エコアクションによる温室効果ガス削減量  
②市民の電動車の使用割合

# 事業概要 【人流・位置情報のデータ利活用推進事業】

新しい地方経済・生活環境創生交付金  
(デジタル実装TYPE1)

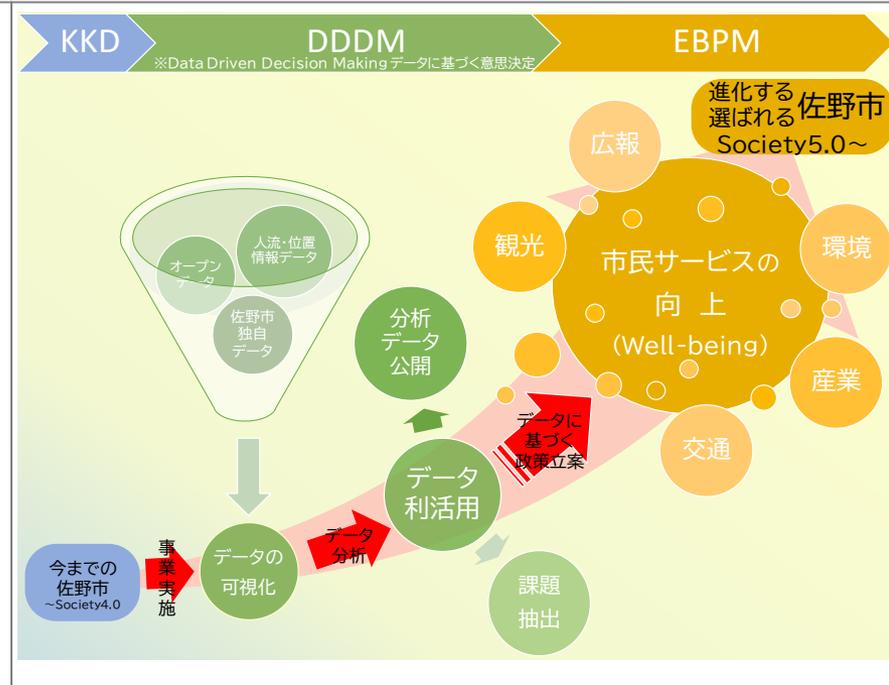
自治体名	栃木県佐野市	人口	113,101人	事業費	5,610千円
------	--------	----	----------	-----	---------

**事業概要**  
 人流や位置情報データを可視化・分析した結果を公開し、市民や地域の事業者など、様々なステークホルダーに活用してもらうことで、市民参画や官民協働による地域活性化を推進するとともに、まちの魅力の向上に繋げる。また、市が様々な施策を行うにあたり、人流や位置情報データを可視化・分析し現状の課題を明確にすることで、効果的な施策の企画や事業の構築を行い、市民や佐野市を訪れる方の利便性向上および満足度向上を図る。

**具体サービス**

【人流・位置情報データの可視化分析】  
 人の流れを可視化・分析し様々な施策に活用することで、市民サービスの向上を図る。

【データの公開】  
 事業者や市民等が事業等に参加しやすくなるようデータを公開し地域の活性化につなげる。  
 事業者にとってはデータを活用し新たな商品開発や販売促進を行うことができる。  
 市民等は混雑を想定・回避する計画が立てやすくなることから、事業等への参加がしやすくなる。また、混雑を避けられる（人が分散される）ようになることで、混雑を起因とする事故を回避することもできる。



**主なKPI**

【アウトプット指標（活動指標）】

- ①市民や事業者がデータを活用した数
- ②分析結果ページのアクセス数

【アウトカム指標（成果指標）】

- ①市の観光客入込数
- ②公開したデータの満足度

# 事業概要（国際防災拠点整備推進事業）

新しい地方経済・生活環境創生交付金(地域防災緊急整備型)

<b>自治体名</b>	栃木県佐野市	<b>人口</b>	113,101人	<b>事業費</b>	60,810千円
<b>事業概要</b>	本市は、災害対応に寄与する企業等と連携して、国内外の被災地の復旧復興を支援できる機能・体制を整えることで防災力の向上と関連企業等の誘致を図るため「国際防災拠点さの」の整備に取り組んでいる。避難所における生活環境向上のため、トイレトレーやポータブル電源、ワンタッチパーテーション等を配備し、市施設等での平時利用や大会・イベント等で活用することで、災害対応力の向上と市民の防災意識の向上を図る。				
<b>購入する資機材等の内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○トイレトレー購入 一式 3183.6万円</li> <li>○けん引用車両購入 一式 422.2万円</li> <li>○可搬式小型浄水器 1台 376.8万円</li> <li>○ワンタッチパーテーション 300セット 1,280.4万円</li> <li>○ワンタッチパーテーション用屋根 300セット 326.7万円</li> <li>○ポータブル電源 1台 35.5万円</li> <li>○トイレトレー輸送訓練経費 一式 92万円</li> <li>○トイレトレー輸送体制に係るアドバイザー招聘 363.8万円</li> </ul> <div style="text-align: center; border: 1px dashed green; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;"> <b>行政</b> ↔ <b>企業・団体等</b>                  連携             </p> <p>                 トイレトレー    ポータブル発電機    ポータブルトイレやテント式パーテーション             </p> <p>                 支援物資    復旧作業人材    物資輸送             </p> <p>                 市有施設、避難所等へ配備             </p> <p> <b>国際防災拠点さの</b>                  平時から企業等と連携して、物資供給や人材派遣などの災害対応に関わる機能・体制を整備             </p> <p> <b>市民</b>                  普段の利用や、防災訓練、大会・イベント等での活用             </p> <p> <b>発災時</b>                  市内外の被災地支援             </p> </div>				
<b>主なKPI</b>	<b>【アウトプット指標（活動指標）※一つ以上】</b> ①交付金事業で購入した資機材の地域イベント等での利用		<b>【アウトカム指標（成果指標）※一つ以上】</b> ①日頃から災害に対する備えをしている市民の割合 ②48時間以内に衛生的なトイレの設置を見込む避難所数		

# 事業概要【スポーツ医科学の知見を活用した健康増進によるワークライフバランス改善事業】

新しい地方経済・生活環境創生交付金(第2世代交付金)

申請者	栃木県佐野市				初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	68,000千円 (44,000千円)
経費の種類	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業		インフ 整備事業	事業分野 働き方改革分野
目的(効果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツへの知見が深い学識経験者や地元民間事業者、医師、地域スポーツや部活動関係者等で構成する官民連携による協議会を設置し、市民の健康増進の促進や競技力向上に向けて、実証事業に取り組む。</li> <li>既存のスポーツ医科学センターとの連携を図るため、その連携のために必要な器械を整備し、そうした器具を置いた(仮称)佐野市スポーツ医科学センターを整備する。</li> </ul>					
事業概要・ 主な経費  ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○スポーツ医科学の知見を活用した健康増進・競技力向上に向けた実証事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ医科学の知見を活用した実証事業に取り組む。</li> <li>業務委託料 10,000千円</li> </ul> </li> <li>○(仮称)佐野市スポーツ医科学センター整備事業 既存施設の改修費 1,000千円</li> <li>○スポーツ医科学センターとの連携事業 備品購入費 33,000千円</li> </ul>				 	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市民が自身の身体の状態について、定量的なデータとして捉える</li> <li>○民間事業者のアプリなどを活用し、測定結果を定期的に記録</li> <li>○誰もが気軽に運動に取り組めるようサポート</li> </ul>
KPI  ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ol style="list-style-type: none"> <li>①従業者数(経済センサス) (+313人)</li> <li>②健康づくりに取り組んでいる市民の割合(+3%)</li> <li>③(仮称)佐野市スポーツ医科学センターの利用者数(延べ) (+6,000人)</li> <li>④本事業によるメディカルチェックにおける検査項目改善者数(延べ) (+3,600人)</li> </ol>				関連URL	調整中「令和7年5月公表予定」